



「お～い おばちゃん」の声も もう聞こえない…

Sさんは『ケアホーム希望』を利用して5年半になる。お風呂は嫌いじゃないが、入るまでが面倒だからと いつも「入りたくない！」と、大きな声で大騒ぎをする。大正13年11月生まれの95歳だが年齢を聞くと「89歳だよ」と、利用開始当時の年齢のまま変わらない。利用者で同じ大正13年生まれの人からは「Mばあちゃんからは いつも違うと叱られ、時々言い合いのケンカになることもある…」。



Sさんは 前立腺肥大があり、排尿ができず入院し、尿の管が入っても勝手に動いてしまうため抑制される。『ケアホーム希望』を利用する前は車椅子での生活であった。退院後は自転車に乗り、カゴに尿の管を入れ、近所の交番に行き 警察官に「この管を切ってくれよ！」と大騒ぎをするなど、ハプニングもいろいろとあった。年を重ねるたびに体力も低下していき、誤嚥性肺炎をおこしたりし、入退院を繰り返すが、いつも驚異の回復力で在宅復帰をしてきた。

Sさんが『ケアホーム希望』に来る日はいつも賑やかで、女性職員を呼ぶときは「お～い、おばちゃん」と、女性職員たちからは「おばちゃんじゃないでしょ！」等と叱られ、常に笑いの絶えない人気者であった。そんな Sさんが 10月の下旬に 自宅で倒れ、大学病院に救急搬送され、翌日職員が様子を伺いに行った際には話ができるまで回復していたが、搬送されてから5日目の朝に容態が急変し、まもなく来る96歳の誕生日を目前にし、眠るように天国へと旅立っていった。最期は、病院の優しい看護師さんたちにも恵まれ、『ケアホーム希望』からの誕生日プレゼントのダウンベストと温かい靴下を履かせてもらった。

職員は、これまでのような 驚異の回復力で退院してくると思っていただけに 急な最期に 悲しみは 増したが、娘さんからは「長い期間、病院で 苦しみに 良かったと思います…」と。



Sじいちゃんは、いつも「やめろ、やめろ」と大きな声で騒いだり、職員の手をひっかいたりもしたけど、最後はいつも「ありがとん」と笑って 言ってくれた。その笑顔と「ありがとん」で、私たち職員は癒され、幸せになれた。天国でも憎めない人柄と 愛嬌でみんなを幸せにしてね…。

神代植物公園

秋 パラフェスタ 2019



神代植物公園



主人と何度も
散歩で来た場所で
懐かしいわあ～



赤いバラの花言葉
知ってるかい？
『あなたを愛してます』だよ
むやみに 赤いバラ渡したら
いかんよ…

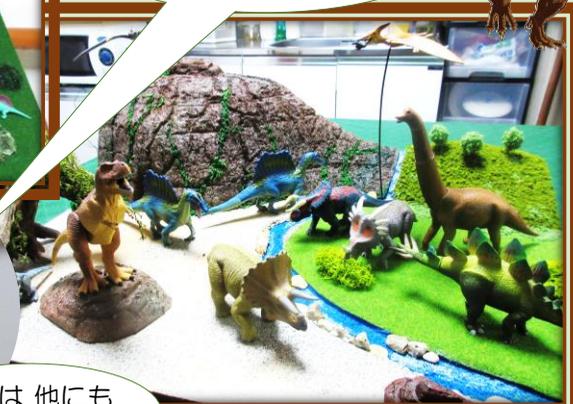
我が家の家族自慢



うちの息子は 昔から
手先が器用で何でも 自分で
作っちゃうのよ



家には 他にも
沢山 あるのよ



こちらは寄贈していただきました

HAPPY BIRTHDAY!!



ステキな色のお洋服ね～
ありがとう

